

## 新型コロナウイルス感染症対策による臨時休校中の生徒の皆さんへ（⑤）

2020年9月23日

校長 森野章二

**あなたの隣人をあなた自身のように愛せよ。（新約聖書 マルコの福音書 12章 31節 — 新改訳聖書）**

世間で言うところの「四連休」が終わり、今日から高三以外の皆さんもオンライン学習が始まりました。是非新たな気持ちで取り組んで欲しいと思います。

さて、皆さんはどのように連休を過ごしたでしょうか。観光地に少しずつ人が戻り始め、かなり混雑している光景も映し出すテレビ番組を横目に見ながら、休校期間中のために家に籠もっていた私は、一日 20 分ほどの近隣散歩を除いては一步も外に出ない生活を続けつつ、若くエネルギーに溢れた生徒の皆さんは、きっと辛い思いをしているのだろうなあ、と考えていました。高三の皆さんは、それどころではなかったかもしれませんが、この機会に、普段なかなか時間の余裕がない家族との **quality time** を持つことは出来たでしょうか。

今回の休校措置により、多くの人たちが色々なものを失ったことと思います。前回は書いたとおり、皆さんの「今」は二度とないものですから、悔しい思いや辛い思いをしている人が多いのではないかと思います。一人ひとりにとって、失ったものが大きかった分、新たに得るものもまた大きいように、心から祈っています。

ところで、清教学園のオンライン学習は、全国にたくさんある私学と比べても、かなり丁寧で中身のある取り組みであると色々な方面から賞賛を頂いています。先生方は、本当に皆さんのことを考えて一生懸命に準備をしてくださっています。1時間の授業を準備するのに数時間もかけている、という先生方もあります。面と向かって直接お話することが難しい分、少しでもよく分かるように、興味を引くことが出来るように、と工夫をしてくださっています。是非、そのあたりの苦労にも思いを馳せつつ、オンライン学習に取り組んでもらえたら幸いです。今回も合い言葉は「みんなが“ちょっとだけ”優しくなろう」です。

冒頭の聖句「**あなたの隣人をあなた自身のように愛せよ。**」は、あまりにも有名な言葉です。しかし、隣人愛ということを語る時、よく見過ごされるのが、「あなた自身のように」という言葉です。隣人を正しく愛するためには、まず自分自身を正しく愛していることが前提になります。「自分が悪い」「自分なんて」と自分を責めてみじめな思いになり、自分を大切に出来ていなければ、正しく隣人を愛して隣人を助けることは出来ません。

今日からのオンライン学習、来週からの登校再開。思い通りに行かないことやイライラすることもたくさんあるかもしれません。しかし、“ちょっとだけ”優しくなって、お互いに支え合うことがいつも以上に大切なこの時期、まずは自分自身を正しく愛し、大切にすることが出来ますように。そして、困っている隣人、悩んでいる友人に手を差し伸べることが出来ますように。「人にはできないが、神にはできる」（マルコによる福音書 10章 27節）と語ってくださった神様が、私たちに愛を注ぎ、私たちを助けてくださいますように。